

【通報受付の音声データサンプルを用いて要点を解説】 “実践を通して学ぶ” 内部通報窓口対応のポイント

～数多くの企業危機管理事例の実績を踏まえて
実効性の高い内部通報制度の運用方法を平易に解説～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日 時 ▶ 2018年 8月 20日（月） 13:00～17:00

会 場 ▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

《開催にあたって》

本セミナーでは内部統制システムの一翼を担う内部通報制度について、数多くの企業危機管理事例を手掛けてきた講師が、その実績を踏まえて解説します。
第1部ではコンプライアンス体制構築の視点、立法の流れ、そして海外対応といった最新の動向を取り上げます。続く第2部では、内部通報制度の実効性を高めるための方策として、平成28年12月9日に消費者庁が公表したガイドラインを解説するとともに、通報事例をテーマとしたディスカッション、あるいは音声データを用いた「受付」の勤所の確認を通じて、内部通報制度運用の要点を考えていきます。

講 師 株式会社エス・ピー・ネットワーク
執行役員 高森 一誓 氏

講 師 株式会社エス・ピー・ネットワーク
総合研究室 主任研究員 新飯田悦孝 氏

講師紹介
特定社会保険労務士（東京都社会保険労務士会会員）、公認不正検査士（CFE・日本公認不正検査士協会会員）。1999年、株式会社エス・ピー・ネットワーク入社。コンサルティング部長、福岡支社長等として、コンサルタント視点と内部管理当事者視点の両面を兼ね備えた講演・コンサルティングを持ち味に、労務管理分野のほか緊急事態対策、情報管理、内部統制全般の領域で活動。2012年管理担当執行役員、2017年総合研究室・企業情報部の担当執行役員就任。2014年、事業構想大学院大学にて新規事業構想におけるリスクマネジメントのあり方を研究・修了（事業構想修士）。

講師紹介
特定社会保険労務士。早稲田大学教育学部卒業。コンピエンスストアチェーン本部（スーパーバイザー）に勤務した後、社会保険労務士資格を取得。人事労務コンサルティング会社を経てエス・ピー・ネットワーク入社。小売店舗における「ヒト、モノ、カネ」の管理と、中小企業の労働問題への対応、就業規則の作成・改定を行う。現在は内部通報制度を通じた企業のリスク管理、労務管理（ヒューマンリソースリスクマネジメント）分野を中心に、幅広く活躍している。＜主な著作＞「内部通報窓口『超』実践ハンドブック」（著者：株式会社エス・ピー・ネットワーク 発行：株式会社清文社（責任執筆））

《申込方法》 当会ホームページ（https://www.bri.or.jp）からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料：1名（ 税込・資料代含 ） ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法（0発信の有無など）をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正 会 員	34,560円（本体価格 32,000円）	一 般	37,800円（本体価格 35,000円）
-------	-----------------------	-----	-----------------------

《事業コード：181736-0303》		内部通報窓口対応のポイント	
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領：当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日（開催日1週間～10日前まで）に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問（FAQ）は当会HPにてご確認ください。（[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]）

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先： 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当／民秋・川守田 E-mail: tamaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

……プログラム……

I. コンプライアンス・危機管理の視点から見た内部通報制度

- （1）コンプライアンス体制としての内部通報窓口
 - ①「不正予防・不正防止」機能と実際～ミドルクライシス・マネジメントの視点
 - ②コーポレートガバナンス・コードとの関係～内部通報窓口の設置目的との関係を考える
 - ③各社のコンプライアンス委員会等との関係～「コンプライアンス」の推進とは？
- （2）内部通報制度の意義を巡っての考察
 - ①公益通報者保護法の議論を導入する上での留意事項
 - ②日本版司法取引と内部通報
 - ③海外からの通報への対応
 - ④その他
 - ・通報、相談、苦情等の分類と意味～内部通報の実情・実務面からの考察
 - ・不誠実通報への対応
- （3）内部通報制度の実効性担保に向けた考察
 - ①内部通報関連規程類の意味
 - ②内部通報制度の見直しに向けた取り組み
 - ③人事異動と第三者窓口の有用性

II. 実効性のある内部通報制度の運用に向けて

- （1）内部通報制度の概観
- （2）実効性のある内部通報制度
 - ①消費者庁の実態調査と当社実施のアンケート
※消費者庁：「公益通報者保護制度に関する民間事業者・労働者の実態調査」
 - ②受付時のポイントと音声デモ
 - ・受付担当者に求められるスキルを解説
 - ・入電中の内容の整理
 - ・通報者の情報開示
 - ・通報受付後の流れの確認

【実践】音声データサンプルを用いてのヒアリング演習

約30分間、通報受付のサンプル音声を流します。
通報内容の調査や是正措置の段階で必要な情報がどの部分にあるかなど、
ご自分が受付担当者であれば、どのような点に留意するかを意識しながら聞いていただきます。

・音声データサンプルの内容をもとに、内部通報窓口のポイントを解説

- ③通報事例
-パワーハラスメントの通報事例：ケーススタディ

（3）まとめ

- ①内部通報制度認証（WCMS）の留意点
- ②内部通報制度の意義・目的

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。